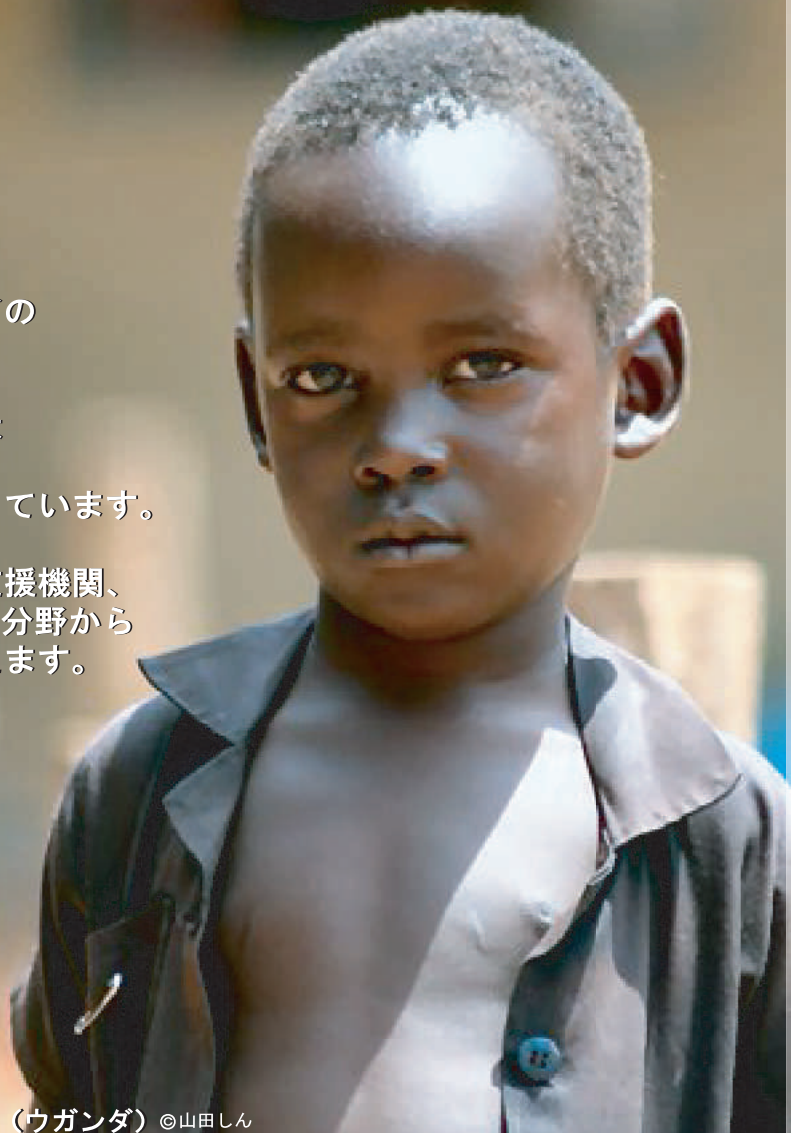


# 日本小型武器行動ネットワーク (JANSA) 設立記念シンポジウム 小型武器問題の解決にむけて

1 分間に 1 人。  
毎年 50 万人近い人たちが  
ピストルや地雷、自動小銃などの  
小型武器で亡くなっています。

安価で軽量化された小型武器は  
世界中に溢れ、  
子ども兵を増やす原因にもなっています。

国連、ジャーナリズム、国際支援機関、  
市民社会 (NGO) など、様々な分野から  
今、私たちにできることを考えます。



写真：リハビリ中の元子ども兵の少年 (ウガンダ) ©山田しん

とき **11/20 (土)** 14:00~18:30  
(13:30開場)

ところ 早稲田大学 西早稲田キャンパス  
14号館 201教室  
(地下鉄早稲田駅徒歩5分、JR高田馬場駅徒歩20分)

## プログラム

- 第1部：基調講演 猪口邦子氏 上智大学教授、前軍縮会議日本政府代表部特命全権大使  
「小型武器軍縮と国連プロセス・・・国連議長としての経験から」
- 第2部：パネルディスカッション  
「小型武器問題の解決に向けて～国連・国際支援機関・ジャーナリズム・NGOからの声～」  
コーディネーター 戸田隆夫氏 JICA企画・調整部平和構築支援室長 兼 調査役(人間の安全保障)【予定】  
パネラー 猪口邦子氏 上智大学教授、前・軍縮会議日本政府代表部特命全権大使  
野中章弘氏 アジアプレス・インターナショナル代表、早稲田大学非常勤講師  
松浦香恵氏 特定非営利活動法人 インターバンド、JANSA設立委員  
山田太雲氏 特定非営利活動法人 オックスファム・ジャパン
- 第3部：ミュージシャンによるピースライブ

## お申し込み

参加費 <前売>個人券1,000円、ペア券1,800円、学生券800円  
<当日>個人券1,500円、学生券1,300円  
郵便振替<口座番号>00170-6-158167  
<口座名>ネットワーク『地球村』東京事務局

※ 通信欄に「11/20JANSA 個人●枚、ペア●枚、学生●枚」とお書き下さい。当日、半券を受付までお持ちください。

## お問い合わせ

日本小型武器行動ネットワーク(JANSA) 事務局  
特定非営利活動法人 ネットワーク『地球村』内  
担当 小川・野口  
TEL: 042-729-4821 FAX: 042-729-4897  
メールアドレス: events@jansa.jp  
ホームページ: http://jansa.jp

主催：日本小型武器行動ネットワーク (JANSA: Japan Action Network on Small Arms)  
共催：早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター (WAVOC)

## 小型武器問題の解決にむけて

「冷戦の落とし子」「事実上の大量破壊兵器」と言われる小型武器。小型武器は、紛争を激化させ、長期化させるだけでなく、紛争終結後も市中に残され、治安を不安定にし、復興開発の障害にもなります。安価で使い方も簡便であるため子どもでも扱え、特に子ども兵の増加は深刻です。「人間の安全保障」を脅かす小型武器問題への取り組みは、「紛争を予防」し、「開発の始動」のためにも重要な取り組みと言えるでしょう。国際社会、市民社会においては、小型武器を含む通常兵器を規制する武器貿易条約（ATT: Arms Trade Treaty）の2006年締結に向けてようやく関心の高まりを見せはじめました。

このシンポジウムでは、国連、国際支援機関、NGO、ジャーナリズムが、それぞれの立場から現状を報告し、小型武器問題の解決の道筋を検証します。

### 出演者 プロフィール(50音順)

#### ●猪口邦子（いのぐち くにこ）氏

上智大学法学部教授、前・軍縮会議日本政府代表部特命全権大使  
1952年、千葉県生まれ。上智大学卒業後、米国エール大学大学院博士課程修了、政治学博士。行政改革会議委員、地方制度調査会委員などを歴任し、2002年4月から2004年4月までジュネーブ軍縮会議代表部特命全権大使。著書に『戦争と平和』（東京大学出版会）、『政治学のすすめ』、『ポスト覇権システムと日本の選択』（筑摩書房）など。文部大臣賞（1972年）、吉野作造賞（1989年）受賞。

#### ●戸田隆夫（とだ たかお）氏

JICA企画・調整部平和構築支援室長 兼 調査役（人間の安全保障）【予定】  
1984年JICA入職以来、コンゴ（民）、ルワンダ、ブルンジ、イラク、カンボジアなど、貧困と慢性的な武力紛争の双方に苛まれている国を含む多くの途上国において執務。1990年代後半においては、改革推進室長代理としてJICAの諸改革にも参画。現在の職責において、平和構築に関するJICAの取り組み強化とともに、人間の安全保障概念の事業における実践にも取り組んでいる。



▲トラウマ(心の傷)を表現する元子ども兵の絵

#### ●野中章弘（のなか あきひろ）氏

アジアプレス・インターナショナル代表、早稲田大学非常勤講師  
インドシナ、アフガニスタン内戦・空爆、エチオピア、ビルマの少数民族問題、チベット、東ティモール独立闘争、イラク戦争など、アジアを中心に第三世界の問題取材。87年、アジアプレス・インターナショナルを設立。編著書に『アジア大道曼陀羅』（現代書館）、『メディアが変えるアジア』（岩波ブックレット）など多数。2004年4月からは、「アジアからの情報発信」を掲げるブロードバンド対応の新しいウェブ・マガジン「アジアプレス・ネットワーク（APN）」編集長。東京大学、目白大学、京都精華大学、早稲田大学非常勤講師。

#### ●松浦香恵（まつうら かえ）氏

(特活)インターバンド 事務局長代行  
青年海外協力隊員時代に遭遇したクーデターをきっかけに、紛争予防・平和構築活動に従事。カンボジア・東ティモールを中心に、11カ国18回約100名の市民選挙監視団員を派遣。国連小型武器会議（2001年ニューヨーク）に参加したことを機にDDR（武装解除・動員解除・兵士の社会再統合）問題に取り組み、カンボジア・バタンバン州においてプロジェクトを展開中。埼玉大学非常勤講師。主な著書『国際選挙監視とNGO』（共著：岩波ブックレット）。

#### ●山田太雲（やまだ たくも）氏

(特活)オックスファム・ジャパン アドボカシーオフィサー  
英国スコットランド、St Andrews大学卒（国際関係学）。英会話講師の仕事の後、オックスファム日本事務所でのボランティア、オックスファム・オランダのインターンを経て、2002年8月より職員。オックスファムにてアドボカシーやキャンペーンを立案、実施。「教育のためのグローバルキャンペーン」の国内共同キャンペーンに携わるほか、WTOカンクン閣僚会議ではオックスファム・インターナショナルの日本語スポークスパーソンとして活動。

### 日本小型武器行動ネットワーク(JANSA)とは・・・

市民自らが小型武器問題を調査・研究し、小型武器の市民社会への蔓延防止を目的に結成された、日本初の小型武器問題に取り組むネットワーク。

現在、JANSA（国際小型武器行動ネットワーク・本部イギリス）が、世界100カ国500の団体で国際的なネットワークを結成し、国際世論への働きかけを行なっている。JANSAはその日本支部も担う。

現在のJANSA設立・加盟団体は、テラルネッサンス＜京都＞、(特活)ネットワーク『地球村』＜大阪・東京＞、(特活)インターバンド＜神奈川＞。

JANSAホームページ <http://jansa.jp>

お問い合わせ(メールアドレス) [contact@jansa.jp](mailto:contact@jansa.jp)

### 会場への地図

早稲田大学 西早稲田キャンパス 14号館 201教室  
地下鉄「早稲田」駅徒歩5分、JR・西武「高田馬場」駅徒歩20分

